

特許出願公告及び特許抜萃

特許公告抜萃

アセチレン瓦斯切断機に於ける被切断物取付装置 (13年特許公告第 4946 號, 公告 13-11-28, 大阪市, 大阪酸素工業株式会社) 取付け並操作極めて簡単にして作業を確ならしめんとする目的を以て可動吹管を取付くべき臺枠上に植立せる調整螺桿に軸篋を嵌挿し該軸篋は其上下をナット及びブラケットにて支持せしめたる彈機間に支承せしめ該ブラケットは螺桿の上部に支承せる偏心輪と連桿に依り連結し前記軸篋上にはスプロケットホイール, ウォーム及びウォーム齒輪と夫々装着し該スプロケットホイールに懸架せる無端帶に被切断物を載架せしむべくなし前記偏心輪を回轉せしむることにより連桿を介してスプロケットホイールを押し上げ被切断物を臺枠に締め付け然る後把手を回轉することに依り前記ウォーム及びウォーム齒輪を介してスプロケットホイールを回轉し同時に無端帶を聯動せしめ被切断物を回轉せしむべくなしたることを特徴とするアセチレン瓦斯切断機に於ける被切断物取付装置。

鑄型製造機 (13年特許公告第 5022 號, 公告 13-11-30, 東京市, 松淵頼俊) 一旦鑄型の内側に緊詰せられたる鑄砂の緊迫を緩むることなく其儘にて反轉操作をなしたる後鑄枠抜取盤兼用押込盤の下降に依りて模型抜取を完全ならしめ以て成型の正確操作の敏速機械の簡易を期する目的を以て鑄型製造機の一定位置に水平に保持せられたる模型取付盤兼用鑄枠固定用支承盤の兩側中央に外方に向ひて水平に突出したる反轉軸を 2 個の外側反轉軸承柱の軸承に架乗すべく構成したる唧筒を夫々垂直に定着し該唧筒の内側に壓力液體の通排乃至閉塞に依りて同時に同距離を上下し且抑止し得べき二つの唧子を上方より唧筒蓋を通して夫々の唧筒に挿入し該唧子の 1 個の頂頭を鑄枠受取盤兼用押込盤の支桿の旋回軸に又他の 1 個の唧子の頂頭を旋回着脱する前記支桿の他端の扼頭に夫々に形成せしめ其旋回軸には鑄枠受取盤兼用押込盤の支桿の一端を旋回自在に保持せしめ他端をして既記扼頭に水平旋回方向より着到して鍵扼すべからしめ更に鑄枠受取盤兼用押込盤の支桿を延長して其兩端上面に受壓子を設け其上面をして豫め既記せる 2 個の外側及び轉軸承柱の内側に是等受壓子よりも鑄枠締込衝程以上の上位に設置せられたる隆起部の下面と垂直に向き合ふべく位置せしめたる鑄型締込模型及び轉拔取装置を有することを特徴とする鑄型製造機。

梯形鐵矢板の製作方法 (13年特許公告第 5032 號, 公告 13-11-30, 新潟縣, 小川辰三郎) 梯形なる嵌込鐵板を使用せずして極めて容易迅速廉價に強固にして優秀なる梯形鐵矢板を製作せんとする目的を以て同様に並列伏置せる 2 枚の鐵矢板を各々縦八の字型に斜狀等分に截斷し其の斷片を交換して繼合せ以て製作せんとする梯形鐵矢板の製作法。

壓延薄鐵板焼鈍面 (13年特許公告第 5045 號, 公告 13-11-30, 東京市, 佐々木佐七) 壓延機より送り出さるゝ 1 枚宛の薄鐵板の全面を均等熱度に迅速に加熱し後密閉して徐々に冷却せしめ大量の金屬薄板の焼鈍操作を容易迅速ならしめんとする目的を以て周圍に保温装置を施せる移動式の焼鈍面内上部に壓延せる薄鐵板の端を支持して後係合を放す支持装置及び面内の薄鐵板を加熱する重油バーナーを設け且つ焼鈍面を密閉すべくなしたることを特徴とする壓延薄鐵板焼鈍面。

變壓器又はダイナモに使用する薄鋼板を製作する爲めに

珪素鋼に常溫壓延及び熱處理を施す方法 (13年特許公告第 5046 號, 公告 13-11-30, 亞米利合衆國, ゼ・コールド・メタル・プロセス・カンパニー) 豫定の磁性を有する細長片狀の變壓器用又はダイナモ用の薄板を連続的に作り且つ又高價なる合金成分の助を藉ることなしに磁性を改良せんとする目的を以て高温壓延せられたる薄板に對して少くとも 2 回だけ常溫壓延を施して該薄板の厚さを少くとも 50% だけ減少し此常溫壓延せられし薄板を各常溫壓延の間に於て 800~1,025°C の溫度に於て熱處理し而して最後の常溫壓延を受けし薄板を中間熱處理溫度よりは、高く即ち 875~1,150°C の範圍内にある溫度に於て熱處理する諸操作を特徴とする高温壓延せられたる珪素鋼薄板に常溫壓延及び熱處理を施す方法。

鋼塊用鑄型の改良 (13年特許公告第 5081 號, 公告 13-12-3, 大阪市, 久保田權四郎) 小鋼塊用連續鑄型の耐久力を増大せんとする目的を以て複數個の鑄型を相隣接する壁間に空隙を存せしめて連続せしめたることを特徴とする鋼塊用鑄型。

錫を主體とせる合金及びドロスより錫回收法 (13年特許公告第 5105 號, 公告 13-12-3, 東京市, 三菱鑛業株式会社) 處理困難なる前の地金より極めて簡単に且經濟的に錫を回收する目的を以て錫, 鉛, アンチモン, 銅其他の金屬を共存せる錫合金或は錫ドロスを稀苛性曹達液を以てオートクレーブ内にて壓力 20 氣壓内外液の溫度 200 度 C 内外にて處理し錫を液中に溶解して合金中より錫を分別回收する方法。

表面の一部又は全部に滲炭を施せる肉薄鋼板の製造法 (13年特許公告第 5106 號, 公告 13-12-3, 東京市, 株式会社日本製鋼所) 表面の脱炭なく且つ從來至難とせられたる表面に均等に滲炭せる大形薄鋼板を簡易且つ確實に製造し得しむる目的を以て厚鋼片の表面の一部又は全部に滲炭を施す工程と該厚鋼片の滲炭面を酸化防止用軟鋼薄板にて覆ひ之を其の周圍に於て處々熔接する工程と次に之を加熱し其の儘壓延する工程との結合よりなれる表面の一部又は全部に滲炭を施せる肉薄鋼板の製造方法。

電極豫備焼成法 (13年特許公告第 5144 號, 公告 13-12-3, 東京市, 岡精男) 簡單なる手段により焼成時に於ける電極の歪曲破損を可及的減少せしめ且つ其の品質を向上せしむると同時に副産物として活性炭を得る目的を以て成型せる未焼成電極を電氣爐内に多數並列し各電極の周圍には鋸屑を充填し最初電氣爐内に電流を通して鋸屑を不完全燃焼せしめ之を炭化せしむると同時に其の燃焼熱を以て電極を焼成し次に電流を遮斷して爐内を冷却せしめ電極内に包藏せる揮發成分を炭化せる鋸屑に吸収せしめ以て電極を焼成すると同時に其の周圍の鋸屑をして活性炭の原料に變ぜしめる事を特徴とする電極豫備焼成法。

冷剛輾子鑄造方法の改良 (13年特許公告第 5163 號, 公告 13-12-5, 東京市, 大谷米太郎) 急冷に依り金型内に圓筒狀に生成せらるゝ胴部外殼と其の内部に鑄込まるゝ鑄鋼とを一體に融着せしめ且つ中央部分の熔融鑄鐵排除時に發生する瓦斯の脱出排除を充分行はしむると共に排除熔融鑄鐵をして押湯作用を爲さしめ全體を緊緻堅牢なる材質と爲さしむる目的を以て冷剛輾子の胴部鑄造用金型と頸部及びクラッチ部鑄造用砂型とを組合はせたる外型内に先づ熔融鑄鐵を下方より上向に鑄入し之が金型接觸部のみが冷凝するも内部は未だ熔融狀態に存する適時間を経過したる後下方中央部より熔

融鋼其の他適宜強韌性熔融金屬を上向に鑄入し未凝固鑄鐵を上方に押上排除しつゝ後刻鑄入金属と代謝せしむることを特徴とする冷剛輦子鑄造方法の改良。

鑄造用鑄型材料 (13年特許公告第5164號, 公告13-12-5, 東京市, 中山宗吾平) 熱傳導率良きが故に製品の出來を良好ならしめ且つ水火に對し變質せざるが故に壽命長く高熱に堪ゆる鑄型材料を得むとする目的を以て砂鐵に粘土粉末を混じたることを特徴とする鑄造用鑄型材料。

原鑄處理法 (13年特許公告第5176號, 公告13-12-5, 朝鮮京城府, 日高周波重工業株式會社) 原鑄の還元處理を極めて短時間に容易且つ有利に行はんとする目的を以て赤鐵鑄等の如き結晶質原鑄粉粒に還元作用を呈する物質例之炭炭等を又其還元作用物質が電導度に富むときは更に石灰等の絶縁物質と共に微細状態に於て不連續的電導性を生ずる如く混在せしめ之に高電壓にて電流變化度大なる高周波電流又は變調電流を直接導通して原鑄を還元することを特徴とする原鑄處理法。

粉末錫集結法 (13年特許公告第5177號, 公告13-12-5, 東京市, 三菱鑄業株式會社) 熔解する際大部分酸化して金属集結の目的を達し難き粉末錫を前述の方法に依り極めて簡単に且つ經濟的に集結する目的を以て粉末錫, 針狀錫其の他粒狀錫を苛性曹達と食鹽との混合せる熔融態或は又苛性曹達の熔融態を包容せる器中に攪拌しつゝ装入して金属粒子を相互に結合して其の大きさを増大せしめ斯くして前記熔融物を通過しつゝ錫を鍋底に熔融状態として集合せしむることを特徴とする粉末錫集結法。

不鏽鋼面鍍錫下地處理法 (13年特許公告第5257號, 公告13-12-10, 東京市, 佐田文世, 外2名) 簡易なる設備により特殊電極を用ふることなく被處理鑄を兩極として直流を最も有効に利用し而も處理下地面の滑かにして浸漬鍍錫を堅固容易ならしめんとする目的を以て硫酸又は鹽酸若は兩者の配合溶液に尿素及び鹽化亜鉛を添加したる液中に常法により酸及びアルカリ處理に依り表面の油脂を除去したる不鏽鋼を各兩極に結び轉換器を附したる電槽中にて直流電源により電解處理を行ひ一定時間後陰陽交互に數回切替作用せしめたる後最後に陰極側になりたるものより順次引上げ水洗することを特徴とする不鏽鋼面鍍錫下地處理法。

マグネシウム及びマグネシウムに富める合金類を熔融及び鑄造する方法 (13年特許公告第5258號, 公告13-12-10, 朝鮮, 日本マグネシウム金属株式會社) 熔融又は鑄造の際金属の損失を招くことなく且つ熔融體又は鑄造物の機械的性質に不利なる影響を及ぼさしむるが如き俱れなく有効にマグネシウム及びマグネシウムに富める合金類を熔融及び鑄造せしむる方法を得んとする目的を以て熔融する金属物質又は熔融したる金属物質上に空氣中にてマグネシウムに對して無作用の氣泡を生じつゝ燃焼し且つ炭化の際永久的の硬き外皮を生ずる殆んど無水の固形有機物質即ちアスファ

ト, カゼイン, 角質物の粉末, 砂糖又は同様の物質を被覆せしめ斯くして最後に保護被層を熔融體の全表面上に形成せしむることを特徴とするマグネシウム又はマグネシウムに富める合金類を熔融及び鑄造する方法。

特許拔萃

特許 番 號	名 稱	特 許 權 者	公 告 拔 萃
126914	銅管の接續法	齋藤長八郎 野口弘一	ナ シ
126930	「ハンダ」着機に於ける「ハンダ」棒供給装置	吉田光次郎	第24年第9號
126994	高温度用強力「ハンダ」	航空研究所長	ナ シ
127001	鋼の脱酸方法	タルジイ・エ・デザ シエリ・ゼレクトリ ク・デュジヌ	第24年第7號
127019	鐵着「フラックス」の製造方法	寺田正一 高瀬義雄	〃
127028	「マグネシウム」合金の腐蝕に對する抵抗を改善する方法	航空研究所長	第24年第9號
127102	薄板工場用火爐装置	北村廣清	第24年第9號
127148	錫鑄製煉操業中に生ずる一中間物の處理方法	三菱工業株式會社	第24年第9號
127164	青化製煉法の改良	松川達夫	〃
127170	磁性合金	株式會社日本電解製鐵所	第24年第8號
127251	アルミニウム合金合せ板	住友金属工業株式會社	第24年第9號
127281	銅及び鉛浮選精鑄粉の團鑄製造方法	日本鑄業株式會社	〃
127325	アルミニウム或は其の合金面に文字模様其他を作成する方法	シーメンス・ウント・ハルスケアクチエン ゲゼルシャフト	ナ シ
127327	直接還元製鐵爐	南滿洲鐵道株式會社	第24年第10號
127352	骸炭爐用の自塞戸	ドクター・シー・オットオー・アンド・カムパニー・ゲゼルシャフト・ベシュレンクテル・ハフツング	第24年第8號
127362	アルミナ及び含アルミナ鑄の浮游選鑄法	松野吉松	第24年第9號
127368	電極炭素として適當なる無灰コークスの製法	ゲウエルクシャフト・マチアス・ステンネス	ナ シ
127370	耐火性鉛裝電線の製造方法	古河電氣工業株式會社	ナ シ